

特産品開発住民ワークショップ

2月19日(金)・3月1日(月)町農業研修センター「ろくじ館」

地域資源を掘り起こし
「甲佐ブランド」を検討

2月19日(金)・3月1日(月)の
2回にわたり、町農業研修センター
「ろくじ館」で、甲佐町特産品開発住
民ワークショップを開催しました。

このワークショップは、平成21年度
から町が取り組む「特産品開発事業」
の「環」として開催。この事業は、本町
の自然環境などから生み出される資源
を基に加工品などを研究開発し、付加
価値のある「甲佐ブランド」を確立す

ることで、本町に人を呼び寄せるよう
な、町全体のイメージアップ戦略を展
開することを目的として実施。農林水
産業者や商工業者、企業、住民などが
連携して、それぞれの知識・知恵を結
集しながら「甲佐町のイメージ」に
合った商品開発を進め、生産力や販売
力の強化を図って町全体を活性化し、
個性豊かなまちづくりを目指します。

ワークショップには、町民など約20
人が参加。第1回は、初めに、本町の
特産品などに関して実施した町民対象
のアンケートと、福岡市・熊本市の市
民を対象としたアンケートの調査結果
について検証。続いて、グループに分
かれて、地図に本町の地域資源で重要
だと思われるものを理由とともに付せん
で落とし込む作業を実施。作業が終わ
つたら、特に重要と思われるものを5点
ほど選択して、各グループで発表しま
した。

第2回は、第1回で検討した地域資
源を基に、特産品としてどのように開
発するかについて検討。「誰が」「ど
こで」「何を」を使って(加工して)、「
誰をターゲットに」「どのようにお
金を稼ぐ」をキーワードとして、自分
たちが主体となってできそうなことを
念頭において企画書を作成し発表しま
した。

町では今回のワークショップでの検
証を踏まえて、今後も引き続き特産
品開発事業を進めます。

